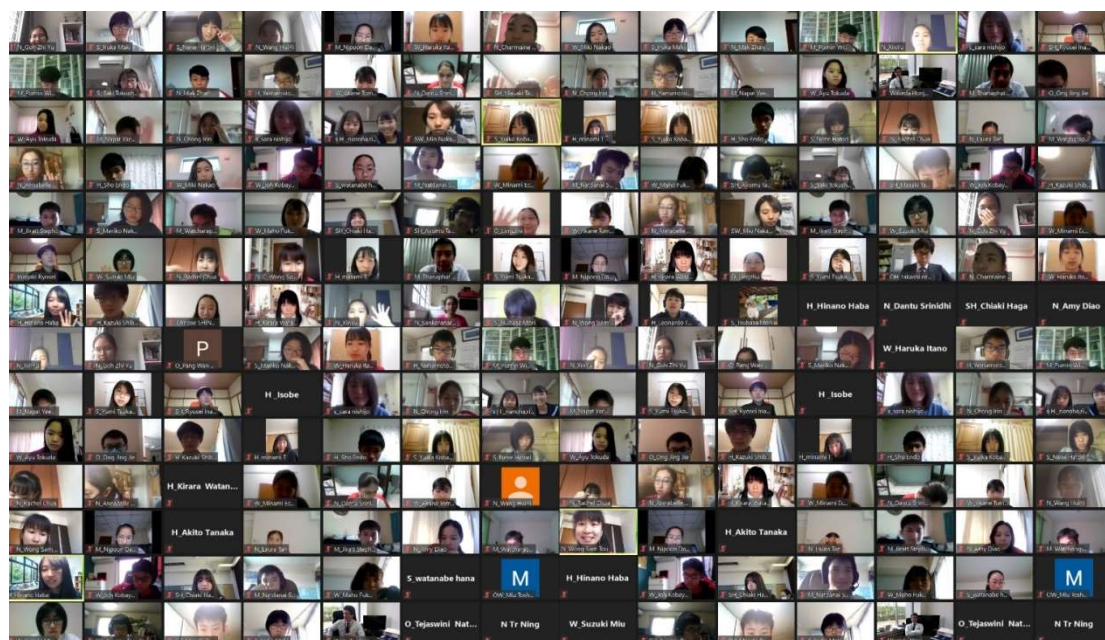


2022 年度からの新学習指導要領実施に向けた新カリキュラムを完成させました。  
 コロナ禍中、感染予防に最大限の配慮をしつつ、授業を展開しました。フルオンラインや分散  
 登校などの新たな授業形態を通じて、ウィズ（ポスト）コロナの時代にも活かせる経験とリソ  
 ースが積み重ねられました。校舎隣に新体育館（96 号館）が完成し、換気の問題もない  
 ため、ここでも感染防止策を講じながら授業や部活動を実施することができました。  
 全国・世界から多様で資質の高い生徒を受け入れるために、2019 年度に続き、入試会場  
 の一本化などの入試改革に取り組みました。  
 学部との教育活動の連携や情報交換を密にし、生徒がそれぞれの学部・学科への理解をよ  
 り深いものにし、進路選択できるようにするとともに、キャリア教育も充実させました。また、国  
 際交流や地域貢献の面では、コロナに伴う大幅な制約が生じましたが、オンラインでの国際シ  
 ンポジウム等を実施することができました。



オンラインで国際シンポジウム Asia Academic and Cultural Sessionsを開催（Web 用に画像加工してあります）

## 1. 2020 年度報告

### (1) 入試関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 1 関連)

－ 2021 年度を見据えた各学部・研究科における入試制度改革の実施状況 －

#### ① 2021 年度入試に向けて

2020 年度一般入試・帰国生入試における、願書の Web 化、2 次試験（面接）の廃止に続き、2021 年度入試においては、入試会場の一本化（従来の 2 会場方式のうち、本庄会場をやめ、早稲田会場のみとした）等の入試改革に取り組みました。

#### ② 入試広報の効果的展開

全国・世界から多様で資質の高い生徒を受け入れるため、かつコロナ禍に対応するため、新たにオンラインによる学校説明会を、例年よりも多く実施し、海外を含む遠方の方々も参加されました。対面の説明会ではできない PR もできたと考えています。同時に生徒寮の情報や相談の場を提供し、親元を離れての様々なバックグラウンドをもった生徒との共同生活の雰囲気も感じていただくことができました。

### (2) 教育関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 2、3、4 関連)

－ グローバルリーダー育成にむけた、各学術院・学院・学校における取り組み状況 －

#### ① カリキュラム改定

2022 年度からの新学習指導要領実施に向けた新カリキュラムを完成させました。コロナ禍中、教育のオンライン展開などで積み重ねた経験とリソースは、ポストコロナでのさらに質が高く工夫された授業展開に活かされます。

#### ② 卒業論文指導の強化

第 2 学年からとりかかる長い探求活動の中で、卒論指導とともにライティング、プレゼン教育についても注力しました。また、オンラインによる卒論報告会を実施しました。

#### ③ 学部推薦選抜制度の充実

ミスマッチがなくモチベーションの高い生徒を学部推薦することを目指し、多面的学部推薦制度（G 選抜）を実施しています。高大接続の一環で、学部との教育活動の連携や情報交換を密にし、生徒がそれぞれの学部・学科への理解をより深いものにできるよう努力しました。大学キャンパスでの対面による学部説明会は感染拡大防止の観点から行わず、オンラインで実施しました。同じくオンラインでのキャリアデザイン講座、大学院生による進路に関するパネルディスカッションも実施し、学部で何を学ぶか・どんな未来を描くかをイメージできるよう、進路指導の充実を図りました。

#### ④ 地域連携プログラムの充実

予定されていた地域連携プログラムのうち、地元小学校との交流事業（総合的学習の支援）や、本庄市×Skyward EDGE コンソーシアム合同プログラム（早稲田、山形、東京理科、多摩美術、滋賀医科の 5 大学の学生が力を合わせて地域イノベーションを起こす！）等については、コロナの影響で生徒の参加が叶いませんでした。一方、地元小学校との合同河川調査は順延の後に実施することができました。また、大学教務部のサポートのもと、「企業連携ワークショップ」をオンラインにて開催しました。参加した生徒は「水」に関する課題解決に向け、企業との協働作業を継続する中で、意思決定のスキルや難しさ、喜びを経験することができました。

#### ⑤ 新体育館が広げる本庄学院教育の可能性

校舎隣に建設された新体育館（96 号館）には、従来の体育館より広いメインアリーナの他に、部室やトレーニング室、多目的室等があり、換気も問題ないため、コロナ禍の中でも感染予防に配慮しながら、授業や部活動を継続することができました。ポストコロナで、より一層充実した授業や部活、各種イベントへの利用等による教育プログラムの可能性の拡大が期待されます。

(3) 研究関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 7、9 関連)

－ 研究の国際展開のための戦略策定に向けた取り組み状況 －

本学院の専任教員、非常勤講師等による研究論文や調査報告を掲載した「研究紀要」を年 1 回刊行しています。

(4) 国際関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 8 関連)

－ 派遣留学、留学受入促進に向けた環境整備への取り組み状況等 －

2018 年度に、1 年間留学をしても高校 3 年間で卒業できる「第 2 種留学」制度を作りましたが、2020 年度においては、コロナの影響で留学希望者はいませんでした。一方、コロナ禍でも留学や国際交流の良さを伝え、モチベーションを維持してもらうために、以下のとおり様々なオンライン企画を実施、参加しました。

- ・特に新入生に向けて国際交流の良さを伝えるために、ミニシンポジウム「国際交流へのいざない」を開催しました。
- ・ニュージーランドの私立女子校である Epsom Girls Grammar School と本学院 ESS 部によるミニ交流会を開催しました。
- ・ハナ国際シンポジウム 2020 (オンライン) を開催しました。韓国の交流校 Hana Academy Seoul 主催のシンポジウムは一時中止となりましたが、生徒や経験者が立ち上がり、オンライン開催に向けた協議を行い、「文化交流」と、プレゼンを通じた「意見交換」を中心に実施されました。
- ・立命館高校が主催する、世界で最大規模の国際高校生科学シンポジウム Japan Super Science Fair (JSSF) 2020 に参加し、本学院生も動画および Zoom で研究発表を行いました。
- ・タイ、シンガポールの 2 校、国内 2 校で、国際シンポジウム Asia Academic and Cultural Sessions (本学院主催) を開催しました。
- ・Singapore International Science Challenge2021 (オンライン) に 3 名の生徒が参加しました。
- ・国際部による留学説明会を、2 度、生徒保護者に向けて Zoom で開催しました。

## 2. 2021 年度計画

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(1) 入試関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 1 関連)</p> <p>－ 2022 年度を見据えた各学部・研究科における入試制度改革の実施計画 －</p> <p>① 2022 年度入試に向けて</p> <p>2020 年度入試における願書の Web 化と 2 次試験 (面接) の廃止、2021 年度入試における試験会場の一本化等の影響を分析し、2022 年度入試に活かしていきます。</p> <p>② 入試広報の効果的展開</p> <p>全国・世界から、さらに多様で資質の高い生徒を受け入れるために、ポストコロナにおいても対面に加え、オンラインでの展開を含めた学校説明会や相談会を開催し、海外からでも参加できるようにします。また、地元指定校向けの説明会や出前講義も実施します。早苗寮 (男子寮)、梓寮 (女子寮) の魅力作りを進め、海外や地方への PR 方法を工夫していきます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>(2) 教育関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 2、3、4 関連)</p> <p>－ グローバルリーダー育成にむけた、各学術院・学院・学校における取り組み計画 －</p> <p>① 多様で資質の高い生徒を受け入れる環境の充実</p> <p>親元を離れても、充実した学院生活を送ることができるよう、寮生に向けた独自の地域連携プログラムなど、引き続き魅力的な寮の在り方を目指します。学びの環境をさらに整備するとともに、生徒同士が議論し、互いに啓発し合えるラーニング・コモンズ的なスペースを確保できるよう、旧校舎 (92 号館) も含めた有効活用策を検討していきます。</p> <p>② 教育効果の高いカリキュラムの検討・多様で未来的な教育プログラムの展開</p> <p>2022 年度からの新学習指導要領実施を踏まえ、新カリキュラムの整備、検討を継続的に行います。コロナ禍中に得た、教育のオンライン展開などで積み重ねた経験とリソースを活かし、ポストコロナでさらに教育効果の高い、未来的な授業展開、メソッドの開発を目指します。また、地域連携 (貢献)・企業連携・国際交流・研修活動・各種コンテスト参加など多様なプログラムで、本庄学院教育の可能性を広げていきます。</p> <p>③ ミスマッチのない学部進学と将来設計を目指して</p> <p>基礎学力と知的好奇心を備えた生徒を育成するために、学部との教育活動の連携や情報交換を進め、学部説明会等を実施します。キャリア教育、進路指導をさらに充実させるため、キャリアデザインウィーク (進学の部／就職の部) やキャリアデザイン講座について、同窓会や校友会との有機的な連携を作り、発展させます。</p> <p>新たに日本医科大学に、高等学院、本庄高等学院、早稲田実業から推薦進学が可能となった (2022 年 4 月より受け入れ) ことを踏まえ、同大学と 3 校が連携のうえ、キャンパスツアーや医学系の模擬講義等を企画、実施していきます。</p> <p>④ 高等学院との有機的な連携と附属生としてのアイデンティティ育成</p> <p>2021 年 2 月に高等学院との連携プログラムとして WASS (Waseda Affiliated School Summit) を開催しました。また、教務部のサポートを得ながら両校主催で学部決定後の 3 年生を対象に企業連携ワークショップを開催しました。現在、高等学院側と協働連携プログラムの検討を開始しており、このことが新たな教育プログラムとして附属生としてのアイデンティティ育成につながることを期待しています。</p> |
| <p>(3) 研究関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 7、9 関連)</p> <p>－ 研究の国際展開のための戦略策定に向けた取り組み計画 －</p> <p>本学院の専任教員、非常勤講師等による研究論文や調査報告を掲載した「研究紀要」を刊行します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

(4) 国際関連 (Waseda Vision 150 核心戦略8 関連)

－ 派遣留学、留学受入促進に向けた環境整備への取り組み計画等 －

① 留学の促進

1 年間留学をしても高校 3 年間で卒業できる「第 2 種留学」制度や、Education New Zealand (ENZ)、アメリカ KENT School との留学協定を活かし、本学院から海外に羽ばたく生徒の増加をめざします。特に ENZ では個人の目的に沿ったフレキシブルな留学内容がカスタマイズできることが魅力で、その効果が期待されます。

国際部との連携の下、PR 活動を充実させ、本学院で受け入れる留学生についても増加をめざします。また、英語版の Web サイトおよびパンフレットを作成します。

② ポスト SGH のプログラム

本学院には、長い SSH・SGH 期間中に培われた経験と国内・海外校とのネットワークがあり、SGH 後も国際プログラムをどう継承させていくか鋭意検討していきます。これまで実施してきた Mahidol Wittayanusorn School (タイ)、National Junior College (シンガポール)、Hana Academy Seoul (韓国)、蘇州中学 (中国) との生徒訪問・受け入れの交流については、コロナ禍で一旦オンライン化あるいは停止されましたが、再開に向けて努力します。これらの学校との連携については、未来的な国際交流のスタンダードとなるようなプログラムを双方で検討したいと考えています。

以 上